

【もうひとつの子育てってなに？「もうひとつの子育て～はじめに～」より】

人がみなそれぞれ違うように、子育てのあり方も本来多種多様であっていいはず
です。しかしながら、その重要性が叫ばれる中、いわゆる専門家の頼ることが増え、
外注化が進んでいます。少子化が進み、子育ての伝承も失われた今、どうやって子
育てをしたらいいのかも分からず、人に頼ってしまうという気持ちも分かります。
でも、親は子を産むことによって親になるのではなく（世間ではそう言われていま
すが）、子を育てることによって親になるのだと思います。

早期からの教育が大切と言われ、あれこれと子どもを連れまわし、習い事に子ど
もを預けることで、親は子を知ることができるのでしょうか？分からないから人に
頼むのではなく、分からないからやりとりをしながらお互いを理解し合っていくの
です。そのプロセスが、親になるということだと思います。

とはいえ、こういったプロセスを一人で抱え込んで、何でも自分で解決していこ
うという姿にも無理があります。子どもと同じように、大人も子育て仲間、友だち
を作って、一緒に悩みや不安を乗り越えていくということが大切です。子育てに関
する情報は、ちまたに溢れています。そうではなく、お互いの体験を通して、具
体的な現実に向か合っていくという姿勢が、子育てには必要です。

いいところを見つけて、そこに子どもを預けることで、安心を得るというのでは
なく、分かり合える仲間を見つけ、互いに助け合う関係が子育てには欠かせません。
人との関係の中で、子どもを育てる、という当たり前のことが見失われてきた今、
もうひとつの子育てがあることを提案したいと思います。